

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ(新型インフルエンザ)情報

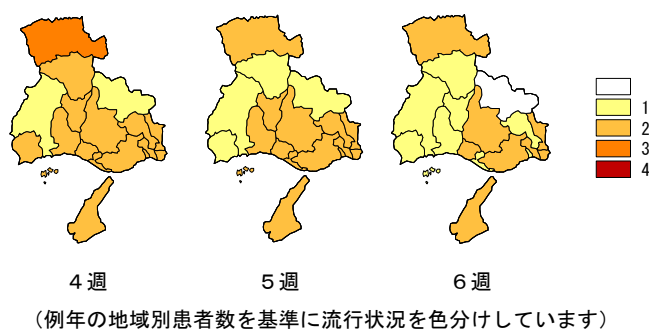
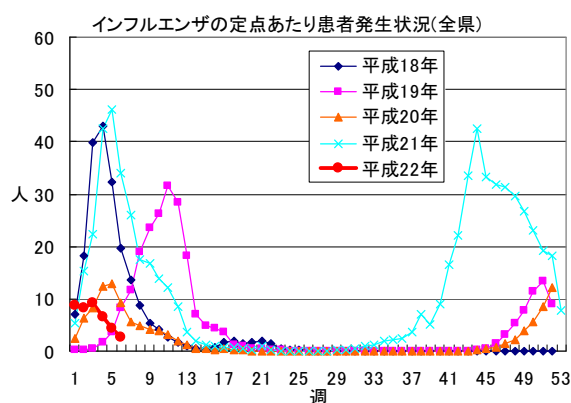
インフルエンザの定点あたり患者数は**2.68人**(先週4.35人)と減少しました。定点あたり10人以上の地域はなくなりました。流行はかなり下火となりましたが、新型インフルエンザはこの先の流行の予測がつきません。また、神戸市内をはじめ近畿圏内ではB型インフルエンザウイルスの分離・検出が報告されています。引き続き今後の動向に注意してください。

新型インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html> (兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

<http://web.gg.pref.hyogo.lg.jp/hyogo/ap/gg/men/pwtpmenult01.aspx> (兵庫県医療機関情報システム)

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(全県)



(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)

新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ(HP)でもご覧ください。

- 厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- 厚生労働省: 新型インフルエンザ最新情報 (<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- 国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- 兵庫県のHP: 新型インフルエンザ対策について (<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

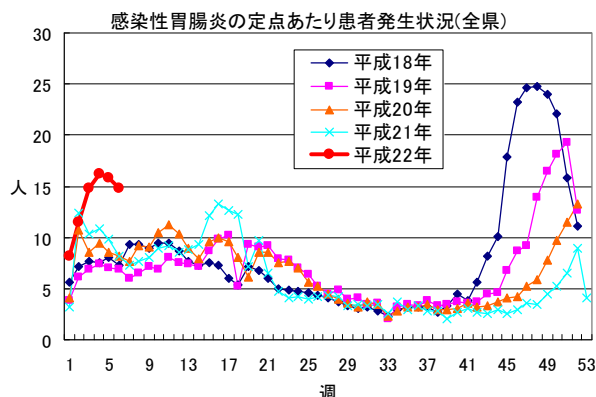
定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	14.85	15.88	-1.03	6位	突発性発しん	0.42	0.45	-0.03
2位	インフルエンザ	2.68	4.35	-1.67	7位	流行性耳下腺炎	0.39	0.30	+0.09
3位	RSウイルス感染症	1.76	1.69	+0.07	8位	流行性角結膜炎	0.31	0.40	-0.09
4位	水痘	1.46	1.52	-0.06	9位	手足口病	0.19	0.08	+0.11
5位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.07	0.94	+0.13	10位	咽頭結膜熱	0.16	0.24	-0.08

定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症です）

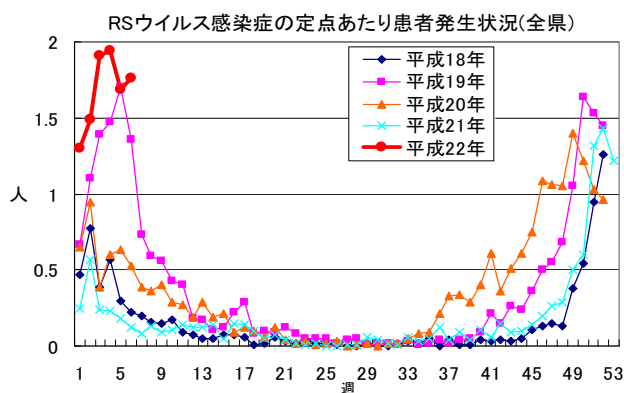
感染性胃腸炎

今週は患者数が減少しましたが、例年の同時期と比べて患者数が多くなっています。ノロウイルスが病原体であることが多いと考えられますが、注意が必要です。



RSウイルス感染症

患者数は例年と比べて多くなっています。しばらくは注意が必要です。



全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 25名 （神戸市14名、尼崎市1名、姫路市5名、西宮市2名、伊丹保健所管内2名、明石保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	アメーバ赤痢 1名 （神戸市）、 後天性免疫不全症候群 1名 （無症候性キャリア）
追加報告	結核 4名 （姫路市1名、加古川保健所管内1名、龍野保健所管内1名、丹波保健所管内1名）

検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

姫路市内の医療機関を受診した**滲出性扁桃炎患者5名**（1～3歳）から**アデノウイルス2型**が分離されました。また、尼崎市内の医療機関を受診した**感染性胃腸炎患者3名**（1～7歳）から**ノロウイルスGⅡ型**が検出されました。

インフルエンザウイルスサーベイランス（1月分）の結果：神戸市を除く県内14か所の医療機関を受診したインフルエンザ患者から採取された**82検体中73検体（89%）**から**新型インフルエンザウイルス（AH1pdm）**が検出されました。

目で見える動向（県内）

